

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は第1ゲート（フィニッシュライン側）の外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻及び招集完了は、競技開始時刻に対して次の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
跳躍競技(棒高跳除く)	60分前	45分前
棒高跳	75分前	60分前
投てき競技	60分前	45分前

(3) 招集方法

- ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ユニフォーム・ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。また競技区域への持込物品等について確認を受ける。
- ②代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が「2種目同時出場届」を1種目目の招集完了時刻までに届け出る
- ③リレー競技に出場するチームは、所定の招集所に用意した「リレーオーダー用紙」（3枚つづり）に記入し、招集完了時刻の1時間前まで招集所に提出する。決勝においても変更の有無に関わらず提出する。
- ④出場種目を欠場する場合は招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出する。
- ⑤提出する書類については招集所に準備をしている。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは2枚配布する。(競技規則 TR5.7・8)
- (2) 腰ナンバー標識について
 - ①800m以上のトラック競技は、招集所で配布された2枚の腰ナンバー標識をパンツの左右両側（サイド中央から後方寄り）につける。
 - ②4×400mRは、第4走者に腰ナンバー標識2枚が配布され、左右両側につける。第2・3走者は右側に1枚の腰ナンバー標識をつける。
- (3) 特別ナンバーカードについて
5000m, 3000mSCでは、特別ナンバーカード(胸側)と腰ナンバー標識を使用する。
- (4) 腰ナンバー標識は剥がれないよう、念のため上辺の左右に安全ピンをつける。(招集所で配布する)
- (5) 跳躍競技に出場する競技者は、ナンバーカードを胸または背につけるだけでよい。

5 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い退場する。なお、1位から3位の競技者は室内走路表彰控えに直ちに集合する。
- (3) トラック競技において、スタート地点からフィニッシュ地点までの衣類搬送を行うので、フィニッシュ後に自分の衣類を持参して退場する。

6 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順番による。
- (2) トラック競技の決勝でのレーン順は、福島陸上競技協会のサイトで確認する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則 TR21.2)

7 競技について

(1) トラック競技について

- ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④4×100mRの第2・3・4走者は各自用意したマーカーを使用することができる。レース終了後は第1・2・3走者がチームのマーカーを取り除くこと。
- ⑤4×400mRにおける第3・4走者は審判員の指示に従い、第2曲走路入り口（黄色旗）を通過した順序で、内側から並び待機すること。

(2) フィールド競技について

- ①投てきと走幅跳・三段跳の計測は光波測定器を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。
- ②走高跳を除く跳躍種目及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで使用することができる。走高跳の競技者は、助走路内に主催者が用意したマーカー（粘着テープ）を2個までおくことができる。サークルで行う投てき種目は、マーカーを1つだけ使用することができる。
- ③棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を「アップライト申請書」に記入し、招集完了時刻競技まで招集所に提出する。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
- ④フィールド競技における競技場内での練習は競技役員の指示に従う。
- ⑤三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの位置に設置する。

8 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次のとおりとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m90/2m00	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	3cm
	女子	1m45/1m60	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	3cm
棒高跳	男子	4m40/4m80	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	10cm
	女子	3m00/3m50	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	10cm

- (2) 棒高跳の公式練習はゴムバーを使用する。

9 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストにない投てき物の持ち込みを認めるので、希望者は各種目招集開始時刻までに TIC に申し出る。また、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を提出する。受け付けた「投てき用具」については、「預り証」を発行する。検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後に「預り証」を確認のうえ TIC（競技場室内走路内に設置）で返却する。

10 競技用靴について（競技規則 TR5.2）

競技者が競技する時は、裸足で、または片足もしくは両足に競技用靴を履いてもよい。競技者はカウンスルによって承認された競技用靴に関する全ての規則を遵守しなければならない。

靴検査に関しては、WA のウェブサイトからダウンロードできる the Shoe Control Guidelines（靴検査ガイドライン）に具体的な情報が記載されている。特に、靴検査中に靴底の厚さを計測することは想定していない。

11 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は電光掲示板で行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合には 15分以内、それ以外は30分以内）に、競技者自身または代理人が、TIC を通じて審

判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（2万円）を添え、総務を通じて上訴審判員に文書で申し出る。

12 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位までの競技者は、正面スタンド前で表彰式を行う。
- (2) 各種目の1位にはトロフィーと賞状を、2位～3位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 県対抗総合成績には1位～3位、男子総合1位～3位、女子総合1位～3位
男子トラック競技1位～3位、女子トラック競技1位～3位
男子フィールド競技1位～3位、女子フィールド競技1位～3位を表彰する。
- (4) 表彰式では競技用ユニフォームを着用しない。

13 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (3) 競技者が安心して競技に専念できるように「撮影禁止エリア」を設ける。
- (4) 撮影禁止エリア以外でも盗撮行為が疑われるような「迷惑行為」防止に向けて、撮影者に対し大会役員より撮影理由や撮影データ及び、身分証明の提出を求める場合がある。

14 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は、メインスタンド内更衣室及び補助競技場クラブハウス内更衣室が利用できる。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物については庶務係で保管する。保管期間は、8月23日競技会終了までとする。
- (7) 記録はその都度大型スクリーンで発表するが、福島陸上競技協会のサイトでも随時掲載する。
- (8) 「記録証」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」にもとづく。
- (10) 送付された棒高跳ポールの受け渡しは、庶務係で指示する。また、棒高跳ポールの返送（有料）は、競技終了後、TIC（競技場室内走路内）に申し出ること。
- (11) 提出書類は次の通りとする。

提出書類	提出場所	提出時刻
棄権届	招集所	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	招集所	招集完了時刻1時間前まで
棒高跳支柱移動申請書	招集所	招集完了時刻まで
2種目同時出場届	招集所	先に出場する種目の招集開始時刻
記録証明書交付願	T I C	各競技終了後随時（500円）
上訴	T I C	
投てき用具検査申請	T I C	招集完了時刻1時間前まで

15 暑熱環境下の競技対策について

2026年度日本陸上競技連盟「暑熱対策」に基づいて実施する。

なお、WBGT（暑さ指数）が31度以上の場合、大会の中断、中止を検討する。